

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	子どもの読書活動推進事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	090200 - 055	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	02 いきいきとした地域社会をつくる社会教育の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	子どもの読書活動の推進に関する法律(H13.12施行)			
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画、第3次北上市子どもの読書活動推進計画			
■事業の目的と概要	子どもがいつでもどこでも本に触れ合い、読書活動が盛んになる社会を構築し、情緒豊かな子どもを育む。「子どもの読書活動推進計画」の推進委員会の設置及び委員会開催			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	子どもの読書活動推進事業	市民	広報、ケーブルテレビ等による読書活動推進啓発、北上っ子読書のつどい(こどもアートスクール、親子絵本クッキング2回、読み聞かせ)開催、推進委員会2回開催。	広報等による読書活動推進啓発、子ども読書の日周知、家庭読書週間の設定・周知、北上っ子読書のつどい(こどもアートスクール、読み聞かせ)開催、推進委員会1回開催。前任者退任に伴う新委員6名の任命。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	114	138	139	26	
人件費	3,905	4,746	3,138	423	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,019	4,884	3,277	449	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	委員会一回あたりコスト	2,009,500円	2,442,000円	1,638,500円	449,000円	フルコスト÷委員会回数
02	委員会開催回数	2回	2回	2回	1回	
03	委員会延べ出席者数(委員18名)	29人	29人	29人	15人	

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

「子どもの読書活動推進計画」で定めている項目のうち、大体の項目は目標を達成している。推進委員会を開催し、「子どもの読書活動推進計画」の進捗状況や子どもの読書活動の状況を確認した。

問題点・課題等

幼いころからの読書習慣が小中学生以降の読書習慣に関わってくることから、親世代の読書への理解が必要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

第3次北上市子どもの読書活動推進計画が令和2年度までであることから、これまでの成果と課題を把握し、次期計画に反映させる。幼いころからの読書習慣定着のため、乳幼児期の読み聞かせや幼稚園・保育園等での読み聞かせの推奨、親世代の読書の大切さの周知を図る。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了